

伊勢湾内7離島と対岸側における港・海岸整備に対する住民の評価

名城大学
名城大学
豊国神社
名城大学

正会員 伊藤政博
学生会員 ○浅井将昌
正会員 村上 廣
学 生 金森正和・近藤博幸

1. はじめに

伊勢湾には図-1に示す愛知県の佐久島、日間賀島、篠島の3離島、三重県には答志島、菅島、坂手島、神島の4離島がある。これら離島の港・海岸は昭和32年に制定された離島振興法によって整備拡張がなされている。地域住民がこうして行われてきた整備事業をどのように評価をしているかについて検討する必要がある。そこで、愛知県3離島と本土側として一色町と南知多町、三重県4離島と本土側として鳥羽市を対象にして、これまで行われてきた漁港・海岸の整備拡張に対して地域住民が「過去」と「現在」でどのように評価し、さらに「将来」に対してどのような願望を抱いているかを調べる。この調査はアンケートおよび聞き取りによって行った。本研究では、アンケート回答者の性別、年齢層および職業の違いが、漁港・海岸の整備拡張等の評価にどのように影響しているかについて検討を加える。

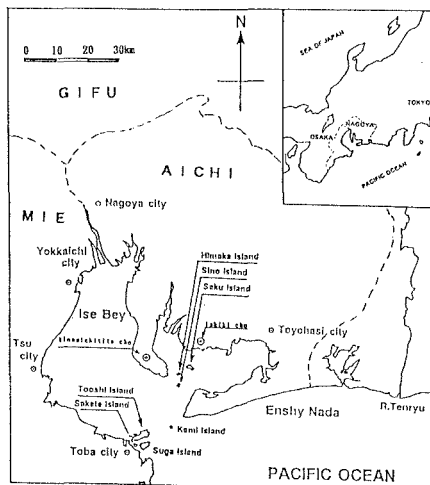


図-1 アンケート調査地

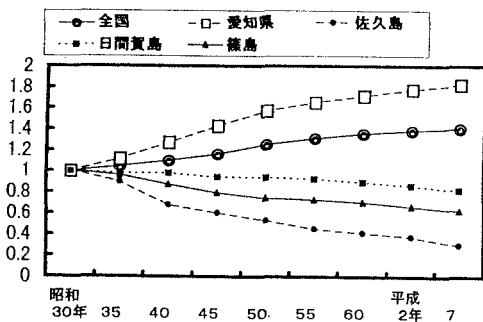
2. 愛知と三重県7離島の人口変化

全国の離島人口は、昭和35年(1960)には約102万人であったが、平成2年(1990)には59万人と、30年間に人口は半減している。図-2全国の離島における人口さらに本研究で対象した伊勢湾7離島の人口推移が示してある。この図から、愛知と三重県では人口は増加しているが、全国の離島とそれぞれの7離島では減少の一途をたどっている。中でも、愛知県の佐久島、三重県の坂手島では人口の減少が著しい。この理由として、本土側への連絡船の就航回数の少なさ、および島に小学校までしかないなど離島特有の閉鎖性があげられる。

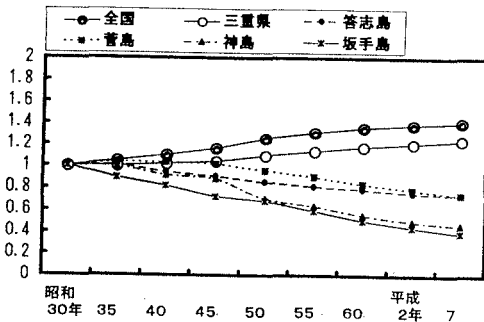
3. 泊地面積と防波堤の経年変化

愛知県と三重県の7離島における港の泊地面積および防波堤の総延長を調べると、昭和50年以降泊地面積および防波堤の総延長が急激に長くなっている。このように港・海岸の整備は順調に進められてきていることがわかる。しかし愛知県の佐久島と三重県の坂手島では、他の離島に比べて泊地面積および防波堤の総延長の増加割合が低い。

4. アンケート調査項目



(a) 愛知県および3離島の人口比



(b) 三重県および4離島の人口比

図-2 昭和30年を基準とした三重県、愛知県および離島の人口比の経年変化

アンケートは伊勢湾内7離島とその対岸側の計10地域の住民に対して、主に聞き取り方式で行った。アンケート調査項目は、① 漁港の利便性、② 漁船の泊地面積規模、③ 係留施設(物揚場、船揚場)④ 防波堤の効果と規模、⑤ 消波ブロックの投入効果の全5項目である。本調査は、以上の項目について“過去”と“現在”における評価、さらに“将来”に対する願望度に分けて、それぞれ6段階(非常に良い、良い、普通、悪い、非常に悪い、わからない)で評価する方法を採った。

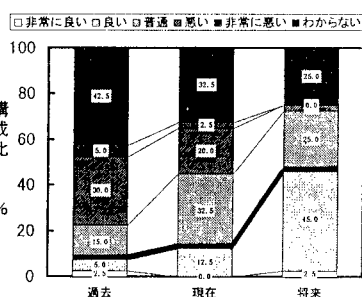


図-3 漁港の利便性 (佐久島)

5. アンケート調査分析

7離島とその対岸側について、前述の①～⑤の調査結果の項目を6段階に分けて、比率(%)で整理した。この結果の1例として、図-3に、佐久島における「漁港の利便性」の結果が示してある。この図で、図中に太い線で表してある過去と現在における「非常に良い」と「良い」の評価の和は「満足度」、また将来については「願望度」として表現することにする。このように定義した満足度と願望度を愛知と三重県の7離島およびその対岸側(愛知県：一色町、南知多町；三重県：鳥羽市)を含めてまとめた結果が図-4である。この図から、漁港の利便性の評価は全体的に過去から現在にかけて良くなり、将来さらによくなりたいという結果になっている。このように、アンケート調査項目①～⑤について、過去から現在、さらに将来の「非常に良い」と「良い」との和を、調査地域別に整理した。表-1には、漁港の利便性の評価をまとめた結果を示した。この表によると、

- (1) 過去から現在にかけて良くなり、さらに将来もっとよくなりたい；(↗)型、
- (2) 現在と過去の評価が同じで将来よくなりたい；(↘)型の2つのタイプに大きく分かれている。

6. まとめ

(1) 漁港の利便性は、過去より現在の方が満足度は高くなり、さらに将来に対する願望度がより高くなっている。このことから離島における港・海岸の整備拡張事業は着実に進められてきたことが地域住民に大きな満足度を与え、これが将来の願望度につながっている。しかし、三重県の菅島では(↘)型となっている。この理由として、過去、現在における漁港の利便性については男性による評価が低い。

(2) 漁業者(職業別)で漁港の利便性を検討した結果、過去より現在の方が満足度は高くなり、さらに将来に対して願望度が高くなっている。

(3) 係留施設(物揚場・船揚場)および消波ブロックの投入効果は、性別、年齢層別および業別に関係なく(↗)型を示していることから、地域住民に大きな満足感を与えている。

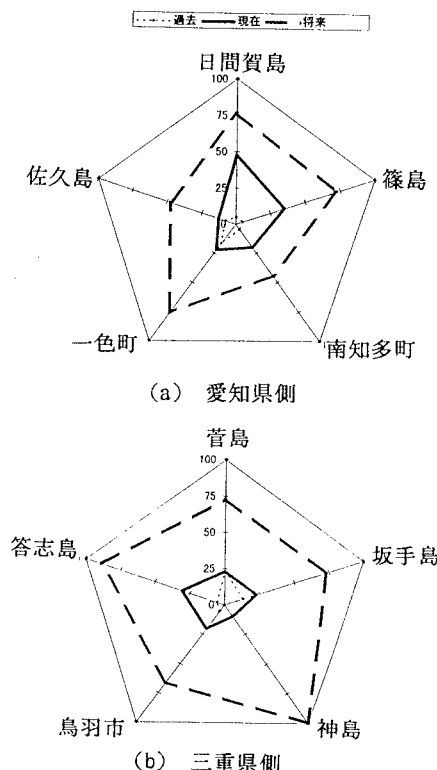


図-4 漁港の利便性に対する評価 (非常に良い・良い)

表-1 漁港の利便性に対する評価一覧

愛知県側				三重県側			
	過去	現在	将来		過去	現在	将来
佐久島			↗	菅島			↘
日間賀島			↗	答志島			↗
篠島			↗	坂手島			↗
一色町			↗	神島			↗
南知多町			↗	鳥羽市			↗